

まちの話題



子ども会連合会平和学習
8月2日(土)、江田島公民館
で子ども会連合会が江田島市
原爆被害者の会の協力で平和
学習を行いました。
始めに開かれた慰霊祭には
関係者100人が出席。子ど



大君地域のキャンプ
過去最高115人が参加
今年で4回目になる、大
町大君地域住民と大君小学
児童との合同キャンプが、7
月26日(土)27日(日)に沖美町岡
大王で行われました。
今回は大古太鼓クラブ16人
が初めて参加。過去最高の
115人が参加したイベント
では、キャンドルサービスや
塩作りなどを体験しました。
大君地区自治会 真谷 宏



カヌー・手作りボートレース 市内外から50組が参加

今年で5回目となる、大柿島ひきおにカヌー・手作りボートレース大会が、7月27日(日)に大柿町柿浦漁港で行われました。市内外から50組が参加。100mの区間でタイムを競いました。
重長 英司実行委員長は、「10月中に、島ひきおにの原作となった引島でイベントを実行したい」と話していました。詳細は、ホームページに掲載予定。
<http://www.shima-oni.jp/>



美会長は「来年度から大君小学校が大古小学校に統合されるが、今後も大古小学校を含めた地域での開催を考えたい」と話していました。

安全・安心市民の集い
地域の取り組みが重要
防犯意識の高揚を目的に、
「江田島市安全・安心まちづくり市民の集い」を8月2日(土)に沖美ふれあいセンターで開催しました。
約400人が参加した会場では、小学生書道大会の表彰式、安全・安心のまちづくりや暴力追放の宣言を採択。
減らそう犯罪情報官の講演、警察の寸劇、警察音楽隊の演奏が行われました。
広島県内の犯罪の状況や犯罪を抑止するためには、地域の取り組みが重要と講演しました。



北京五輪バレー公開応援 栗原選手に 150人が声援



頑張って！と声援を送る
保育園からの同級生
佐崎 登詩子さん(写真左)と
今宮 沙耶香さん(同右)

「メグちゃん頑張れ！」8月9日(土)夜、北京オリンピック女子バレーボールに出場している栗原 恵選手の公開応援が、農村環境改善センターで行われました。
初戦はアメリカ。栗原選手が活躍すると、会場は歓声に

包まれました。
試合は終始アメリカがリード。第2セットは、日本が勝ちましたが、セットカウント3-1で敗れました。
公開応援会は、8月13日(火)17日(日)、19日(火)に行われました。

辛坊治郎さん講演会 情報は聴き取る判断力が大切



読売テレビ放送解説委員の辛坊 治郎さんの講演会が、8月9日(土)に大柿公民館で行われました。

450人の聴衆を前に辛坊さんは、「人間というものは、真実を信じるものではなくて信じたいことを無意識に信じる。判断の材料が間違っていたら、判断を誤る。情報を送り出すほうは、頭の中の情報を整理して送り出し、受け取るほうは、頭の中にあるものがやってくるから、意味を見出して整理し、頭の中に送り込む。従って、時によって自分の都合で判断することがある。ということから、情報は、送り出すよりも受け取るほうが難しい。」と、永田町の裏話、阪神・淡路大震災の取材経験を交えながら講演しました。

船から見る風景100選 宮ノ原の舩部さん受賞



オカリナ奏者DUO 本市初コンサートに50人が魅了

第60回広島県美術展巡回展に併せて、文化協会主催のオカリナユニットDUOのコンサートが、8月10日(日)沖美ふれあいセンターで開催されました。

萩の土を使って制作した、オリジナルのオカリナ30本を使い、新旧の流行歌・童謡などを演奏。50人の聴衆を魅了しました。

DUOの江村 克己さんは、「本市で初めてのコンサートでうれしい。チャンスがあれば、また開催したい」と話していました。

国土交通省と(株)日本旅客船協会が、船旅の魅力向上策の一環として実施した「船から見る風景100選」で、ベストショット賞に江田島町宮ノ原の舩部優貴さん、入選に沖美町是長の藤井榮子さんの応募作品が選ばれました。
応募総数2259点中、通学で利用するフェリーから夕日を撮影した舩部さんの写真がベストショット賞に選ばれ、国土交通大臣から表彰されました。



舩部優貴さんの作品『帰るまでの夕日』